



社会福祉法人京都社会事業財団
つばさ園・ももの木学園

〒615-8256
京都市西京区山田
平尾町51の28
TEL 075(381)3650
FAX 075(393)4316

『つばさ園・ももの木学園の みなさんに愛をこめて♪』

大阪経済大学人間科学部教授 臨床心理学者 タッピングタッチ開発者
つばさ園・ももの木学園 非常勤講師 (二〇〇八〜現在)

中川 一郎

ほくにとつて、つばさ園とのご縁は、二十年以上住んでいた米国での生活を終え、帰国して間もない頃からです。故・山辺朗子さん(元龍谷大学教授)の紹介でスタッフ研修をして、二〇〇八年頃から全体研修の非常勤講師としての仕事をさせて頂いています。はやいもので、月一回の研修を始め、もうかれこれ十三年ほどになってきました。夏休みなどを除いて、毎月一回の全体研修を担当してきましたから、なんと一、百三十回以上の研修をしてきたことになりました。

教えに来ている立場ですが、ほくにとつて、つばさ園・ももの木学園での研修はいつも楽しみの一の時です。スタッフのみなさんが、とても熱心に参加してくださり、和気あいあいと話し合われる空間には、笑顔と優しさがいっぱい、ほく自身いつも癒されています。少し前に、「コロナの感染予防を考慮して、研修はしばらく見合わせる」とになりました」と聞いて、なんだか寂しく感じました。ふだん当たり前のようには思っていたのですが、園がほくにとつても大切なところであることを実感しています。さて、そんな全体研修の内容はどんなものでしょうか? トピックには「発達障害」「虐待」「貧困」「依存症」「感情のケア」より良い関係の作り方「痛

基本理念
子どもの最善の利益の追求

基本方針

- ①職員は絶対に体罰をしない
- ②一人ひとりを大切に集団づくり
- ③「生きる力」を育てる

社における平和」「暴力や力による支配」「ストレスケア」「認知行動療法」「マインドフルネス」など、心理と福祉の領域のことをたくさん扱ってきました。アクティブ・ラーニングを大切にして、体験学習とディスカッションを積極的にとり入れています。

そして、ほぼ毎回、研修のはじめに「タッピングタッチ」をし合って貰っています。ここでは詳しく説明できませんが、ゆっくり、やさしく、ていねいに、自分や相手をケアする方法です。トントンと背中などを、左右交互に優しくタッチしていくのですが、お互い優しい気持ちになります。

ストレスケアにもなり、お互いの関係性を良くし、信頼感や思いやりの気持ちを取り戻

迎春タペストリー



ひと針ひと針、みんなで作りました

うです。そんな中、園の子どももスタッフも、安心と信頼を持ってお互いを大切に、健康で豊かな人生を歩んでもらいたい。そんな思いを込めて、今年も全体研修をていねいにしていきたいと思っています。

すような効果がみられます。今は特にコロナの影響で、ふれ合ったりする機会が極端に減っていますが、そんな中、スタッフの皆さんが安心してふれ、お互いをケアする時間は、とても貴重だと考えています。

近年は、スタッフの皆さんが園の子ども達にもタッピングタッチをする機会が増え、子ども達から「して欲しい」とリクエストもあるようです。不安なとき、孤独なとき、そして、怒りや悲しさがいっぱい、優しい言葉さえも受け入れられないようなときでさえ、スタッフの優しいタッチは子ども達のつらい気持ちを癒します。スタッフからセルフケアの方法を学び、気持ちが悪くつかなかつたり、寝にくくつたりするときに、自分自身をケアすることも素敵です。

新型コロナウイルスの影響が長びくことで、人々は余裕を失い、お互いを大切にすることが難しくなっているようです。そんな中、園の子